



せりがや通信第21号

神奈川県立精神医療センターせりがや病院

<新任医師紹介>

せりがや病院では、この4月から4名の新任医師を迎えました。ご紹介させていただきます。

【大槻医師】このたび、せりがや病院に勤務することになりました、大槻です。そうはいつでもH16



年4月からH19年3月までの3年間、ここで勤務していて、2年ぶりに戻ってきましたので、あまり違和感はありません。

久しぶりにお会いする方もいますが、以前より表情が柔らかくなったりと、一見して改善している方もおられました。アルコール依存症や物質関連障害では、治療を継続することで良くなっていく病気ののだと、改めて実感することができました。治療は御自身の努力が必要ですが、できるだけそれを援助していけたら、と考えています。宜しくお願い申し上げます。

【玉澤医師】私、本年度よりせりがや病院に赴任し、日々勉強させていただいております、玉澤と申します。GWも明け、少しずつせりがや病院にも慣れてきたと実感している今日この頃です。私は昨年、横浜市立大学付属病院で一年間勤務していました。



依存症の患者様と医師として関わっていきたい、手助けをさせて頂きたいと思い、せりがや病院への赴任を希望しました。依存症という疾患は、ほかの一般的な疾患とは異なり、通院、投薬だけでは治療は難しく、自助グループへの参加、精神療法といったものが治療上必要とされることが多いです。回復するには患者様個人の意志、努力だけではなく患者様周囲の人間、家族や自助グループの仲間や我々医療スタッフがいかに適切に関わっていけるかが重要であると思います。ですから、医師として外来、病棟ではできる限り、患者様一人一人に時間を割いて、お話を聞かせて頂き、良質な医療を提供させて頂きたいと思っております。これからも宜しくお願い致します。

【上原医師】皆さん、はじめまして。新人医局員の上原です。私はこれまで横浜市立大学市民総合医療センターや国立病院機構横浜医療センター、横浜市大(福浦)など総合病院・大学病院を中心に臨床をしてきました。「せりがや病院でないと勉強できないことが沢山ある」と前任の遠藤先生や小林櫻児先生、上條先生など多くの先生から聞き、さらに数回だけせりがやの外来をお手伝いする機会があり、依存症をもつ当事者、家族を診察する中でその奥深さ、大切さを垣間見て感銘を受けました。「ぜひ働いてみたい」と思っていたところ、大学医局からせりがや常勤医の話を受け、大変光栄に感じながら就職してきました。依存症治療の経験はまだ多くありませんが、当事者、家族、スタッフの皆さんと一緒に誠心誠意勤めていきたいと思っています。よろしくお願いたします！



【黒沢医師】四月からせりがや病院に勤務させて頂いている黒沢と申します。隣の芹香病院から参りました。お手柔らかに皆様よろしくお願致します。私自身は依存症専門病院に勤務するのは初めての経験であり、皆様との御付き合いの中で学ばされることの多い日々を送っています。立場上、偉そうなことを言っても、私自身はニコチン依存症です。以前より減ったとはいえ、30本くらいすわないと一日のリズムが整いませんし半日吸わないとイライラします。だからこそ、お酒であれ、薬物であれ、何かに依存したくなる人の気持ち分かっているつもりです。頼りたくなる気持ち乗り越えて、通院、入院されている方々の味方でありたいと思っています。何でもお尋ね下さい。分かる範囲でお答え出来ればと思っています。



せりがや会を終えて

OB 工藤 宗日本

新緑も芽吹き始めた快晴の4月5日、第30回せりがや会が満開の桜が咲き誇るせりがや病院グランドで行われました。9時半頃会場に着くと、もう沢山のせりがやOB達が集まっていて、久々の再会を喜ぶ掛け声や笑い声が、あちらこちらで渦巻いています。1部と2部と昼食を挟みながら多くの酒害体験発表に集まった皆さんが耳を傾けており、特に6名の入院患者の赤裸々で生々しい酒害体験発表は印象深く、お酒に狂っていた頃の自分と重なって真剣に聞き入ってしまいました。永年、せりがや病院に勤務された遠藤先生の医師の立場からのお話があり、その後先生の患者さんの薬害体験発表や、母親がアルコール依存症になりせりがや病院退院後断酒会に繋がり快復している母の姿を見守っているお嬢さんの家族の酒害体験発表など、興味深く聞かせてもらいました。体験発表の合間合間に、一緒に入院していた仲間達と近況を話し合ったり、入院生活の思い出話に花が咲いたり、あっという間に時間が過ぎていきました。入院していた時より健康そうで、明るくなっている仲間の元気な顔を見ると、私自身も元気をもらえたように思えます。1ヶ月に1回の通院時には、中々お会いする事のできないお世話になった看護師さんやケースワーカーさんに久しぶりにお会いすることも出来て、快復している元気な姿をお見せすることもできました。昨年10月に退院した私にとって、初めてのせりがや会参加でしたが、午後からは司会進行を努め、とても有意義な一日でした。来年も又、満開の桜の下で逢う事を約束して、盛会のうちに終了し帰路につきました。

アルコール家族教室のご案内

＜特別講座予定＞
今後2回程開催予定。ただ今調整中です。

＜薬物依存症の家族教室のご案内＞

＜特別講座予定＞ I 横浜ダルクの方がゲスト
II ナラノンメンバーがゲスト

開催日程と担当

6月 4日(木)	B	ソーシャルワーカー
6月 18日(木)	A	医師
7月 2日(木)	B	ソーシャルワーカー
7月 16日(木)	C	看護師
8月 6日(木)	B	ソーシャルワーカー
8月 20日(木)	A	医師

開催日程とテーマ

6月 11日(木)	3	自分自身を振り返る
6月 25日(木)		特別講座 I 「ダルクの活動と体験談」
7月 9日(木)	4	家族の変化・本人の変化
7月 23日(木)	1	薬物依存症とは
8月 13日(木)	2	否認の心理
8月 27日(木)	3	自分自身を振り返る

アルコール家族教室は、アルコール依存症の知識や特質について学び合い、適切な関わり方を共に考えていくことを目的としています。A・B・Cそれぞれの立場から上記日程で開催いたします。(当院を受診していない患者様のご家族も参加できます)

参加方法 予約なし・無料です。

開催時間 第1・3木曜日午後1時30分～3時30分
(但し、祭日はお休み)

場 所 せりがや病院 2階デイ・ケア室

薬物依存症家族教室では、シンナー、覚せい剤、麻薬、大麻、処方薬などの薬物依存(中毒)についての知識や薬物依存症の特質について学び合い、適切な関わり方を共に考えていくことを目的としています。どの回からでも参加できますが、4回通してご参加いただくことをお勧めしています。(当院を受診していない患者様のご家族も参加できます)

参加方法 予約なし・無料です。

開催時間 第2、第4木曜日午後1時30分～3時
(但し、祭日はお休み)

場 所 せりがや病院 2階デイ・ケア室

外 来 診 療 (新 患 ・ 再 来) は 予 約 制 です。

◎予約変更は平日の午後2時～4時にご連絡ください TEL:045(822)0365

電話番号の掛け間違いが大変多くなっています。よくお確かめの上、おかけ下さい。

〒 233-0006 住所 神奈川県横浜市港南区芹が谷 2-3-1

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/byouin/seisin/index.htm>

発行所 神奈川県立精神医療センター せりがや病院 編集委員

お知
らせ